

令和2年第10回

幸手市教育委員会定例会会議録

招 集 期 日	令和2年10月13日（火）午前9時30分					
開 会 場 所	市役所第二庁舎 2階 第1会議室					
開会の日時・宣告者	令和2年10月13日（火）午前9時30分				山西 実	
閉会の日時・宣告者	令和2年10月13日（火）午前11時58分				山西 実	
出席 状 況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出 席	教 育 委 員	岩 崎 万 紀 子	出 席
	職 務 代 理 者	会 田 研 司	出 席	教 育 委 員	高 島 勝 也	出 席
	教 育 委 員	尾 島 紗 緒 里	出 席	教 育 委 員	藤 沼 寛 次	出 席
傍聴人：0人			書 記：大 竹 孝 典・河 口 奈 緒			
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 部 長	手 島 秀 明	八潮市教育委員会 教育長	石 黒 貢		
	総 務 課 長	服 部 道 春				
	指 導 課 長	堀 越 成 夫	八潮市教育委員会 学校教育部小中一貫教育推進室 主任指導主事兼 小中一貫教育係長	飯 島 忠		
	社会教育課長	百 瀬 修				
	行幸小学校長	井 上 弘 江				
	西 中 学 校 長	野 口 祐 人	八潮市教育委員会 学校教育部小中一貫教育推進室 小中一貫教育係主査	小 林 智 子		
	幸手小学校主幹教諭	松 村 洋 彦				

会議事件名	顛末
<p>開 会 午前9時30分</p> <p>日程第1 前回会議録の承認</p> <p>日程第2 議 事 専決報告第14号 幸手市教育委員会教育 長の専決処理に対する 報告について</p> <p>日程第3 行政報告 1 教育長報告</p> <p>2 事務局からの 主要な報告</p>	<p>教育長 開会を宣する。</p> <p>教育長 令和2年第9回教育委員会定例会の会議録について承認 を求める。 《質疑》 質疑なし。 《承認》 全員異議なく承認。</p> <p>指導課長 議案書により説明する。 《質疑》 質疑無し。</p> <p>教育長 各種教育長会議等について資料により説明する。</p> <p>総務課長 G I G Aスクール構想に係る学校 I C Tの整備について 指導課長 1 幸手市教育委員会研究委嘱校の研究発表について 2 第56回小学校ロードレース大会 3 市内小・中学校音楽発表会 指導課長（吉田幼稚園） 10月の主な行事 社会教育課長（公民館） 1 10月中旬から11月中旬までの公民館講座</p>

	<p>2 修繕工事</p> <p>3 9月の利用状況</p> <p>社会教育課長（郷土資料館）</p> <p>1 報告事項</p> <p>2 今後の事業予定</p> <p>社会教育課長（図書館）</p> <p>1 報告事項</p> <p>2 利用状況</p> <p>3 今後の事業予定</p> <p>4 予約の多い図書（上位5冊）</p> <p>5 購入図書リスト</p> <p>社会教育課長（体育施設）</p> <p>1 利用状況</p> <p>2 今後の主な利用 について資料により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>岩崎委員</p> <p>新型コロナウイルスに不安を感じて学校を休ませている家庭は、まだあるのか。また、休ませている家庭との連絡はとれているのか。</p> <p>指導課長</p> <p>現在も新型コロナウイルスに不安を感じて学校を休ませている家庭はある。休ませている家庭に対しては、適宜、学校から家庭に連絡をとっており、連絡がとれない家庭はないと聞いている。</p> <p>岩崎委員</p> <p>修学旅行の扱いについては、教育委員会が一律、中止を決定した自治体と、各学校の判断に任せた自治体に分かっている。幸手市では、各学校の判断に任せた選択に賛同するが、その判断の意図が分からず、良く思っていない団体や個人がいるように思う。保護者も情報が不足すると不安に感じると思うので、市のホームページ等を活用して広く周知できたら良いと思う。</p> <p>教育長</p> <p>幸手市を含む東部地区15市町の修学旅行実施の判断状況だが、教育委員会が一律中止の方針を示した自治体が7、学校が工夫を凝らしてできる範囲で実施すると決めた自治体が8で、幸手市は後者である。</p>
--	---

幸手市は、子どもたちの貴重な教育活動を奪わないよう配慮しながら、学校とPTAがよく協議して互いの同意の上で、できることを実施していくことにした。

どちらの判断を選択したとしても反対する意見はあると思うが、その判断に至った経緯などの周知が不足していた部分はあるかもしれない。貴重なご意見として承る。

藤沼委員

GIGAスクール構想の取組について2点お話ししたい。1点目は、Microsoft Office 365は非常に素晴らしいツールだが、私の経験上、会社ではスムーズに使えたが、自宅では動作が重く感じられることがあった。3,700台もの端末が一斉にアクセスした場合、ネットワークは耐えられるのか。

2点目は、大規模なプロジェクトなので、様々な問題や課題がでてくると思う。それらにどう対応し、対処していくのかをPDCAのサイクルを回して運用していかないと、リスクがあると思う。

総務課長

1点目のネットワークの負荷について、現在は市内の全小・中学校が、市のサーバー室から1本でインターネットに出ているが、端末の運用を考慮して来年度から、各学校からインターネットに出られるよう設計しており、Microsoft Office 365の実証実験はできないが、耐えられると考えている。

2点目のリスクについて、幸手市では当初、今年度は学校の情報通信ネットワーク環境施設を整備し、端末の導入は令和3年度を予定していた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、緊急事態宣言を発令した区域は前倒しで整備するようとの国から要請を受けて、急遽、補正予算を組んで今年度中に整備することになった。そのため、導入にいたるまでの様々なプロセスが省かれた状況で整備を進めることになってしまっている。

委員がおっしゃるように、導入した後のことも十分考慮しながら、数年後のリプレイスも踏まえてサイクルを回していきたい。

藤沼委員

幸手市は、リースと買取、どちらか。

総務課長

幸手市は、買取である。端末の整備に当たり国の補助を受けられるが、リースだと今年度支払った額しか補助の対象とならないことから、買取を選択した。

藤沼委員

新型コロナウイルスの感染対策として、学校では消毒を行っているが、とある自治体で、パソコン教室のキーボードを消毒すると壊れてしまうので使わせない学校があるとの話を聞いた。幸手市ではどうか。

指導課長

幸手市では、パソコン教室を使用しないという話は聞いていない。つい先日も研究授業でパソコン教室を使って授業を行っている様子を確認している。

高島委員

神戸市の中学校の校長が、新聞の取材で、「新型コロナウイルスの休業期間中に家庭学習用に貸し出した端末が全く使われていなかったケースもあり、家庭によっては一からサポートする必要があることを実感した。」との談話を載せていた。幸手市の学校ICT検討委員会でも協議されているかと思うが、改めて家庭への支援をお願いする。

総務課長

端末の運用には、子どもたちにとっても慣れが必要だと思うので、まずは学校で活用することから始めて、徐々に家庭でも運用することを考えている。学校ICT検討委員会などを通じて指導課や学校と協議していきたい。

高島委員

子どもたちの慣れについては、一斉指導で対応可能かと思うが、家庭での運用は、一人親世帯など様々な家庭の事情があり、なかなか学習に取り組めない環境もあると思う。各家庭にあった支援体制の構築と教員への指導をお願いしたい。

総務課長

ハード面の話だが、最新のアンケートでは、約2割の家庭でネット環境が無いと把握している。そこで、就学援助として、所得額が一定以下の家庭に通信費を月額1,000円を上限に補助する事業を検討している。

教育長

休業期間中にオンラインを活用した授業がマスコミで大

<p>日程第 4 その他 1 次回会議の日程</p>	<p>大きく取り上げられていたが、委員がご指摘のとおり、各家庭の参加状況には焦点が当てられていない部分がある。幸手市では、市や学校のホームページを通じて動画の配信を行ったが、夕方以降に視聴している子どもが多いことが分かった。これは、母親が仕事から帰ってきて、一緒にいないと勉強ができないという事実もあるということが見えてきたもので、まさに検証の時期にきていると思う。</p> <p>高島委員 広島県教育委員会の平川教育長が、現実の授業が面白くなければオンラインを活用しても駄目であり、大事なのはどう面白い授業を作るかだと強調していた。また、オンラインとリアル併用が大切で、子どもたちの探求心をどう引き出すかが大事だとも話していた。オンライン学習の実施に当たっては、今までの取組を検証しながら今の話も踏まえて取り組んでいただきたい。</p> <p>教育長 休業期間中に校長会を通じて、子どもたちに知識を習得させることも大事だが、学ぶことの面白さを気付かせることも並行して行っていくことが大事だと申し上げてきた。オンライン学習の実施に当たっては、その点も踏まえて取り組んでいく。</p> <p>岩崎委員 人材は必要だが、ネット環境が無い家庭の子どもを放課後に学校や公民館で面倒を見るといった環境を整備することはできないか。</p> <p>指導課長 ネット環境がない家庭のために休業期間中は、パソコン教室を開放していた。現段階で学校や公民館での対応は考えていないが、現在実施しているアフタースクールの範囲を広げて対応することはできるかもしれない。</p> <p>各委員の意見を調整した結果、次回の会議については、次のとおり決定する。 (1)令和2年度 第1回総合教育会議</p>
---	---

<p>日程第5 協議事項 (先進地事例から学ぶ ～八潮市の小中一貫 教育の取組～)</p>	<p>日時 令和2年11月10日(火) 午前9時00分 会場 幸手市役所第二庁舎 2階 第1会議室A</p> <p>(2)令和2年 第11回教育委員会定例会 日時 令和2年11月10日(火) 午前10時00分 会場 幸手市役所第二庁舎 2階 第1会議室A</p> <p>八潮市教育委員会教育長及び職員 八潮市の小中一貫教育の取組について、資料等に基づき説明する。 《質疑》 藤沼委員 グローバル社会では、「自分の意見が言える」、「ディスカッションができる」ことが求められている。小中一貫教育は、先を見据えた教育だと感じた。</p> <p>石黒教育長 今の子どもたちが成長して社会に出たとき、今ある職業がなかったり、新しい職業が生まれていたりするかもしれない。そんな社会で自分自身の適性にあった職業を選択して、様々な人とコミュニケーションを図りながら自己を高めて、組織にとってかけがえのない人間になれるよう育てていくのは、我々教育関係者に課せられた大きな課題だと感じている。</p> <p>会田職務代理者 私も他市で小中一貫教育に取り組んだことがあるが、その時、中学校で授業を組み立てる前に小学校の教科書や授業を見てから組み立てたのが、無駄がなくて非常に良かったと感じている。 石黒教育長からもお話があったように、中学校の学力をいかにして上げるかが最大の課題だった。そういった課題に対して八潮市では、全国学力学習状況調査で小・中学校ともに優秀な成績を修めている秋田県内の自治体に毎年、市内の教員を派遣しているということで、素晴らしいと感じた。特に中学校では、秋田県と埼玉県で何が違うの</p>
--	---

か教えていただきたい。

石黒教育長

子どもたちの反応が小・中学校ともに良い。その裏には教員が、教材研究に非常にしっかりと取り組んでいるという実態がある。また、教員を派遣している秋田県小坂町は、娯楽施設がない地域なので、放課後も教員が子どもたちのために遅くまで補習をやっていた。働き方改革とは相対することだが、子どもたちのことを考えて取り組む姿に感動した。

高島委員

小中一貫教育の取組で大事なものは、教員の意識改革だと思う。意識改革の一環として校長は、教員の授業を見て評価するなど、様々な働きかけをすることが重要だと思うが、八潮市ではどのように取り組まれているのか。

石黒教育長

小中一貫教育だけでなく、大きなプロジェクトに取り組むには、トップがその考えや方向性を示すことが大前提だと考えている。

教員の授業評価だが、校長が全ての授業を最後まで見ることは現実的に無理だが、例えば数分見た後、教室の後ろの黒板に良かった点や改善点を書いた付箋を貼って教員に指導している学校もあり、それを真似しているところもある。そういった良い取組で結果がでていいる学校もあれば、特に目立った取組が無いようでも教員が団結している学校もある。様々なパターンはあるが、校長も色々手を尽くして教員に働きかけているのではないかと思う。

尾島委員

小中一貫教育に対する保護者の反応はどうか。

石黒教育長

多くの保護者は、授業よりも行事的な事業に関心を持っているようで、例えば小・中学校合同音楽祭を見て小中一貫教育の取組を知ったり、良さを感じたりしているような気がする。

岩崎委員

中学校になると成績が下がるのは、どこの地域でも同じかもしれない。不登校と非行の解消が、学力の向上に比例しており、家庭の環境が学力に影響していると感じた。八潮市でも、塾に行ける子どもと行けない子どもがいると

思うが、学力の差を埋める授業展開はどのようにされているのか。

石黒教育長

小学校では、少人数学習や習熟度別学習をやっていると思うが、中学校ではどうか。

西中学校長

少人数学習はやっているが、習熟度別学習はやってない。ただし、限られた教科だが、教員が割り振られた教科の指導は行っている。

石黒教育長

家庭環境によってスタートラインが全く違う子どもの差を詰めていくには、この少人数学習をまだまだ充実していく必要があると感じている。八潮市では、つくばエクスプレスの開通により塾に通う子どもが増えたが、塾に行けない小学校5年生を対象に「8ゼミ」という土曜授業の取組を実施している。

山西教育長

幸手市では、小学校の成績はかなり上がってきたが、中学校はやや上がってきたという状況である。その要因の一つとして私は、小学校は宿題や自主学習の取組に子どもと保護者を一緒に引き込めるが、中学校に上がると子どもと保護者のペースに違いが生じる家庭の事情が影響しているのではないかと分析している。

秋田県の小坂町や由利本荘市は、地域柄として勉強する体制が非常に強い。また、全国上位の岡山県は、共働きの家庭が日本一の自治体だが、共働きができるのは、学校のおかげだと感謝する気持ちが非常に強く、学校に対して苦言を呈したり、迷惑をかけたりにすることがないそうだ。こういう風土も少し影響しているのかもしれない。

行幸小学校長

幸手市では現在、元校長が公民館の館長を勤めており、中学生を対象に公民館で教育活動を行っている。今後、小学校に近いという立地を生かして小学生にも対象を広げたらどうかと考えているが、八潮市での地域交流の取組について伺う。

石黒教育長

学習で地域が盛り上がるというのは、なかなか難しい。しかし、先程お話した「8ゼミ」は、保護者が送り迎えをす

るので、指導主事が玄関先でお出迎えするときに月並みな挨拶程度かもしれないが、保護者との関係を持つ機会ができており、私はこれも地域との繋がりと考えている。

山西教育長

教育委員会は、予算や人的な面で苦勞することがあるが、八潮市の小中一貫教育推進室の構成メンバーについて伺う。

それから、小坂町へ毎年1週間、教員を派遣しているとのことだが、予算の配当に支障はないのか伺う。

石黒教育長

小中一貫教育推進室の構成メンバーは、学校教育部副部長兼指導課長兼小中一貫教育推進室長、主任指導主事兼小中一貫教育係長、小中一貫教育係主査の3人である。

飯島係長

予算については、小中一貫教育を推進するための助成金として、一律各校10万円を助成している。また、先程、3校で1ブロックとの話をしたが、5ブロックのうち毎年1ブロックを発表ブロックに指定して、発表校のブロックにはさらに10万円、翌年発表校のブロックには2万円を助成している。

それから、小坂町の派遣研修は、毎年5～6人程度派遣しているが、派遣研修代として8万円を配当いただいている。

石黒教育長

市長とご一緒する会合などで、市長から「本市では、小中一貫教育を進めています。」とあいさつをされるので、ご自身も小中一貫教育の取組に成果を感じられているのではないかと思う。

別件だが八潮市では来年度、GIGAスクール事業で8,000台の端末を運用することになる。この運用・管理を2人で、しかも係レベルでは対応できないということで、専門の課を作ってほしいと交渉しているところである。

閉 会

午前11時58分

教育長

閉会を宣す。

<p>ほか特に重要 と認める事項</p>	<p>なし</p>
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: right;">令和2年11月10日</p> <p style="text-align: center;">教 育 長 山 西 実</p> <p>署名</p> <p style="text-align: center;">署 名 委 員 会 田 研 司</p>